

啓伸塾 便り

3月(弥生) March

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、新春の
新入塾生募集

勉強しているのにテストで点数がとれないのはなぜか？

自習学習の強化書 教習 YouTuber 一葉 著

人間はみんなすべし忘れる生き物の

私たちはコンピュータではないので、当然「保存する」ボタンのようなものは頭の中がありません。「一度記憶して」を「きただけ」になっただけで、記憶として保存されていないケースはたくさんあります。

そうならないために、「覚えたら終わり」とはなく、「覚えたことを忘れないようにしよう」という考え方に切りかえなければなりません。

「知っている」と「わかる」はまったく違う

勉強しているのにテストで点数の取れない人は、基本的に勉強して「知ったつもり」になっているのです。「知っている」と「理解している」で「知る」とは、まったく別ものなのです。

先生の授業だけを聞いていただけで、確かに学んだ気になります。しかし正確に言えば、それは「知ったつもり」になっているだけです。その一時間後に同じ問題をやってもできないのです。そういう子には、大きく二つの特徴があります。

特徴① 問題演習をほとんど先に進めたがる

せっかくな一生懸命勉強に取り組んでいるのに、「進めるのが正義」とばかりに先へ先へと急ぎがちです。しかし、先へ先へ早く進むと、一つ一つがしっかりと定着させなければ、その中に水を入れているようなもの。どんどんとぼろぼろ落ちていく。あれだけたくさんドリルをやったのに、テストが全然できない。「どうしてこうなの？」と不思議になります。

正しい自主勉ノートの使い方を考えます！

この話題は生徒の自主勉のやり方を見て、毎年考えさせられます。

中学1・2年の学年末テスト対策を通して自主勉ノートの子供たちの使い方について感じたことを、ここにお伝えします。

本来の自主勉ノートの使い方は、学力を向上させるためです。しかし、その目的のために自主勉ノートを使っていない子が多くいます。

どんな使い方しているかといいますと、学校の宿題だからということで、大きな字で漢字や英単語を書いたり、塾でやったプリントを張ったり、一度やった計算問題をそのまま書き写すことなど、ただノートのスペースを埋めているだけの使い方です。

こんなことをすることは、時間の無駄です。愚かなことです。

英単語や漢字の練習をするのはいいのですが、ノートのスペースを埋めるのが目的で書いては、覚えることはできません。覚えるつもりで書く、英単語なら声に出さなくていいですが、発音を口ずさみながら書くのです。そうしないと何回書いても覚えることはできません。

その他の教科については、問題と答えをそのまま書き写している子がいます。これもただノートのスペースを埋めているだけです。そんな時間があるのなら、よりたくさん問題を解いて途中式や答えをノートに書いて下さい。

問題を解くということは頭を使う(考える)ことになりますが、ただノートに書き写しているだけでは頭を使っているということにはなりません。頭を使わないと学力は向上しません。

また、ノートカラフルな色を使って参考書を作るように埋めている子がいます。これも同様の理由で効果があるとは思えません。学校の宿題だから、ただその宿題のためにノートのスペースを埋めるだけでは、いつまでたってもテストでよい点数はとれません。

自主勉ノートの消費量と成績の向上が比例していない子は、上記の例に当てはまります。保護者の方でそのことを確認してほしいと思います。そして、もしそれに当てはまるなら、そのことを指摘していただいて、正しい自主勉ノートの使い方をご指導ください。

また、塾のテキストを自主勉として、学校に提出している子がいます。ノートにやることすらしていません。自主勉の目的は、自宅学習の習慣を身につけて学習時間を増やし、学力を向上させることです。今一度、自主勉の目的を考えて欲しいと思います。

成績が上がらない大きな原因は、学習時間不足です。

今月の予定

3月20日(木)春分の日 塾の授業を行います。
3月31日(月) ~ 4月4日(金) 塾は春季休塾です。
新学期の通常授業は、4月7日(木)より始まります。

啓伸塾は、4月から新年度といたします。
新年度の教材費等は、後日ご連絡いたします。また1年間、元気ががんばりましょう。

そうならないためには、解いた問題が本当に「わかる」「理解する」「できる」ことが確認しなければなりません。

特徴② 答え合わせをしたら、それで終わり

答え合わせで「理解した」「できる」ようになったのかもしれませんが、ただOKをつけただけで、「知ったつもり」になっている人も少なくありません。その問題が「わかる」「理解する」「できる」結果を出すには「知る」「わかる」とは全く「理解する」「できる」ことがより大切です。その違いを意識するようになるべく、勉強のやり方も結果も変わって来ます。

特徴③ 「どうせやってもできない」とすべしあきらめてしま

勉強に苦手意識がある子たちは、自分自身を認めあげて「自己肯定感」(自分のことが好き、自分の存在価値を認められる感情)「がとも低い」です。この子たちは、自分に自信が持てず「どうせやってもできない」と思い「記憶力が悪い」「集中力が無い」といったように自分自身の短所をあげます。

しかし例えば、ゲームをやっているときはどハマりしてゲームに必要な武器の名前やコマンド入力、攻略法などをすぐ覚えて、時間を忘れて夢中になった経験があるはず。

その時も記憶力や集中力が無い子なんていません。ただまだできないことが重なって、自信が持てずじまらだけ。できなくことにぶち当たったら、少し我慢してもう少し考えてみましょう！

そうすると、きつくてきつくてあります。この成功体験の積み重ねで、テストで点数がとれるようになります。少しの我慢！騙されたと思って、やってみてください。ゲーム感覚で！